

## # 今月の連載関連本

**生涯人間発達論**

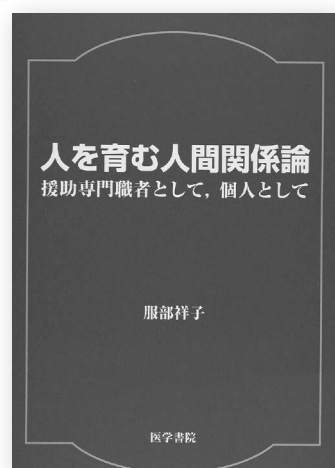
人間への深い理解と愛情を育むために 第3版

服部祥子=著

本体 2,100 円 + 税 / B5 判・224 頁 / 医学書院 / 2020

連載「JOY of the World!」著者・服部祥子先生 (p.1536) による名著を 3 冊ご紹介いたします。

米国の発達心理学者エリクソンの理論をもとに、人間の発達過程をわかりやすく解説した書。生まれてから老いて亡くなるまで人は発達危機に遭遇し、人格的活用を獲得しながら発達し続けるという。その文面からは、長きにわたって児童相談所や大学などで多くの子どもや学生、その家族と関わってきた著者の、人に対する優しいまなざしを感じられる。看護師や看護学生だけでなく、介護士や保育士、子育て中の人にもぜひ読んでもらいたい。

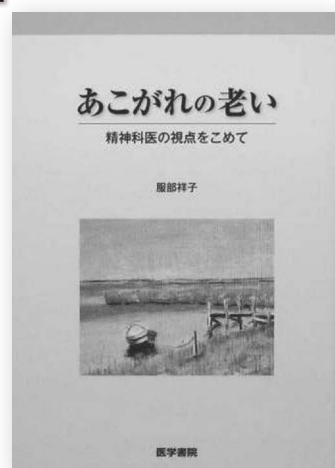
**人を育む人間関係論**

援助専門職者として、個人として

服部祥子=著

本体 1,800 円 + 税 / B5 判・180 頁 / 医学書院 / 2003

医療・保健・福祉や教育分野で「対人援助」を専門とする職業に就く人たちは、対象となる人を深く理解し、よい関係のなかで援助することが望まれる。現在、非常に危うくなっているがゆえにいっそう注目されている、人間にとって根源的なテーマである人間関係論を、文学作品や映画のシーンを随所に引用しながら、生きいきと展開した書。

**あこがれの老い**

精神科医の視点をこめて

服部祥子=著

本体 2,000 円 + 税 / B6 判・280 頁 / 医学書院 / 2008

人生の究極で問われる、それぞれの生き方。精神科医としての 40 年の臨床経験のなかで出会った人々のエピソードを語りながら、成熟の輝きを放つ先人たちを 12 章にわたって紹介し、老いの豊かさ、味わい深さ、老いの醍醐味を論じる。人は生涯にわたって成長・発達し続けるものであるとする著者による人間讃歌。高齢者ケアを専門とされる方々に、またやがて訪れる自らの「老い」に思いを巡らす方々にもぜひ読んでいただきたい。